

イネカメムシの発生に注意！

令和7年1月
塩谷南那須農業振興事務所



【↓幼虫】

【↑成虫】

イネカメムシの発生が近年拡大しています。

令和6年は県南地域で、水稻に甚大な被害がでました。

イネカメムシが出穂期に稲を加害すると**不稔米**の発生が増加します。

また、乳熟期に加害すると**基部斑点米**で**品質が低下**します。

出穂期

不稔で
収量低下



乳熟期

基部斑点米で
品質低下



従来の対策に加え、新たな対策が必要です

発生予察情報による適期防除

被害が発生していない地域でも、イネカメムシがいる可能性があります。県の予察情報を注視して防除に活かしましょう。



栃木県病害虫
発生予察情報

出穂期の防除をプラス！

不稔を防止するためには、通常の乳熟期の防除に加え、**出穂期の防除**が必要です。



出穂前2回草刈りは継続

従来の斑点米カメムシ防除の基本である「①出穂2～3週間前の草刈り＋②出穂期頃の草刈り」は、今までどおり行いましょう。

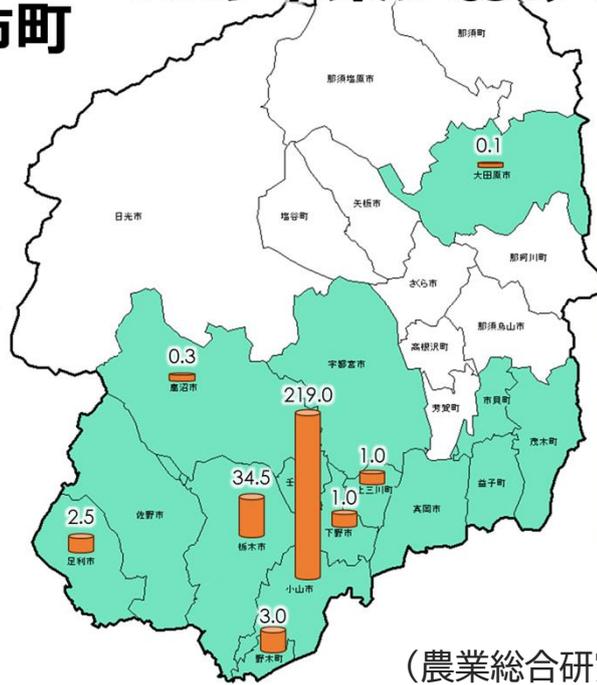


イネカメムシの発生状況

R5までの発生確認市町



R6の本県における発生状況



発生確認市町は**増加**
 R5年 6/25市町 (24%)
 R6年→15/25市 (60%)

主に県中南部で確認
県南で多い傾向

※バーはすくい取り調査結果合計 (頭数/ほ場)

(農業総合研究センター防除課調べ)

イネカメムシの防除体系

生育ステージを確認して
 適期に防除を実施しましょう！

